

## 【漁況】

### [マアジ]

#### 1. 漁獲量の動向（農林統計）

全国のマアジの漁獲量は、昭和40年の53万トンにピークに減少傾向となり、昭和55年には5万4千トンとなりました。その後増加傾向に転じ、平成8年には33万トンまで増加し、30万トン台を維持しながら、平成9年は32万3千トン、平成10年は31万1千トンでした。しかし、平成11年には大きく減少し21万1千トンとなり、平成12年は24万6千トンでした。

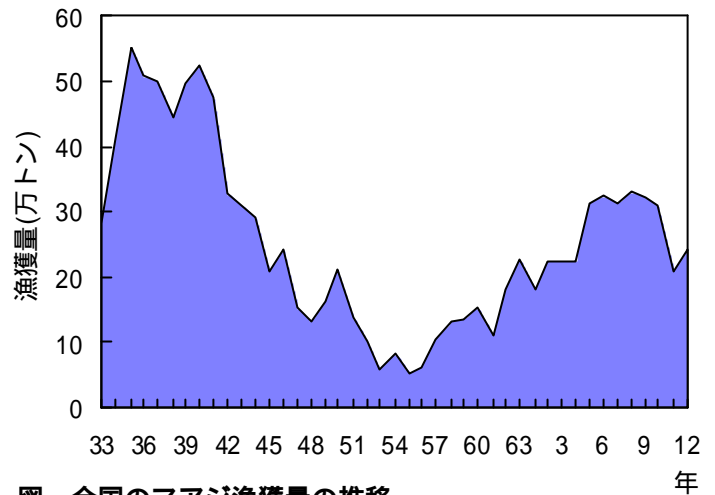


図 全国のマアジ漁獲量の推移

#### 2. 平成14年1～3月期の漁況の経過

【4港計（阿久根；枕崎；山川；内之浦）】

北薩海域では、串木野沖(1・3月)に、薩南海域では、佐多岬沖(1～3月)、開聞沖(1月)、内之浦沖(1月)、野間池沖(2月)に漁場が形成されました。

4港計では、豆アジ(平成13年生まれ)主体に1,073トンの水揚げで、1月は、前年を上回りましたが、全般に低調に推移し、前年の75%及び平年の60%でした。

#### 3. 平成14年4～6月期の見とおし

漁獲の主体は、豆・小アジ(1歳魚・平成13年生まれ)で、来遊量は前年・平年を下回るでしょう。

(根 拠)

主漁獲対象となる平成13年生まれ群は、前期の漁況の経過から低水準で、平成12年生まれ群より小さいと考えられます。

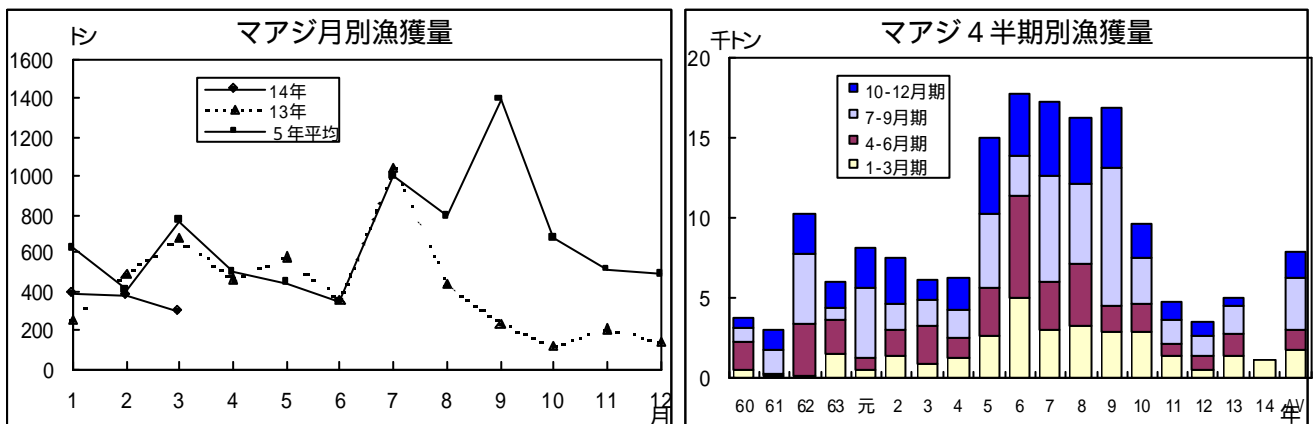


図 マアジ漁獲量変化(4港計)

平年値は過去5年(平成9～13年)の平均値,平成14年3月は19日までの水揚量を使用。

## [ サバ類 ]

### 1. 漁獲量の動向（農林統計）

サバ類の漁獲量は、昭和53年の160万トンにピークにマサバ資源水準の低下により年々減少し、昭和57年には72万トンとなりました。その後は、ゴマサバの増加により大幅な漁獲量の減少は見られませんでした。昭和63年以降はゴマサバの資源水準も低下したため、サバ類の漁獲量は大きく減少し、平成3年には26万トンとなりました。その後、増加傾向に転じ平成9年は84万9千トンとなりましたが、再び減少傾向となり平成12年は34万6千トンでした。

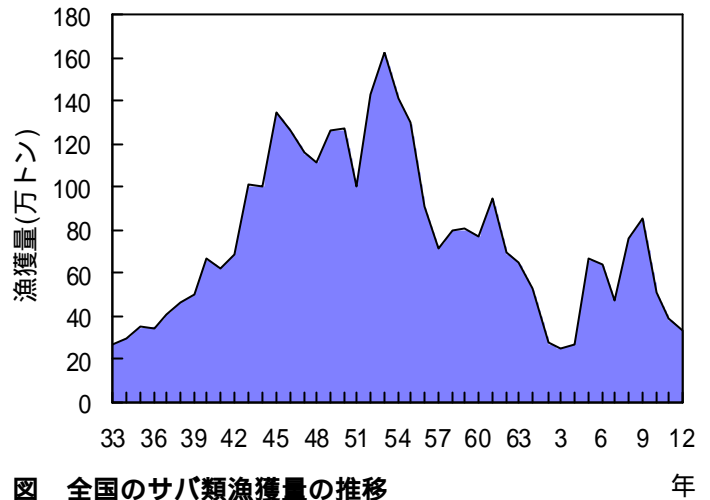


図 全国のサバ類漁獲量の推移

### 2. 平成14年1～3月期の漁況の経過

【4港計（阿久根；枕崎；山川；内之浦）】

北薩海域では、甕周辺(1月)に、薩南海域では、馬毛島周辺(2～3月)、宇治群島周辺(2～3月)に漁場が形成されました。

4港計では、2・3月は大サバ(平成11年生まれと考えられる)主体に660トンの水揚げで、前年の13%及び平年の19%と低調に推移しました。

### 3. 平成14年4～6月期の見とおし

漁獲の主体は大サバ(3歳魚・平成11年生まれ)で、来遊量は前年・平年を下回るでしょう。

(根拠)

平成11年生まれ群は多くは漁獲されないと考えられます。また、平成13年生まれ群・平成12年生まれ群ともに加入は低水準と考えられます。

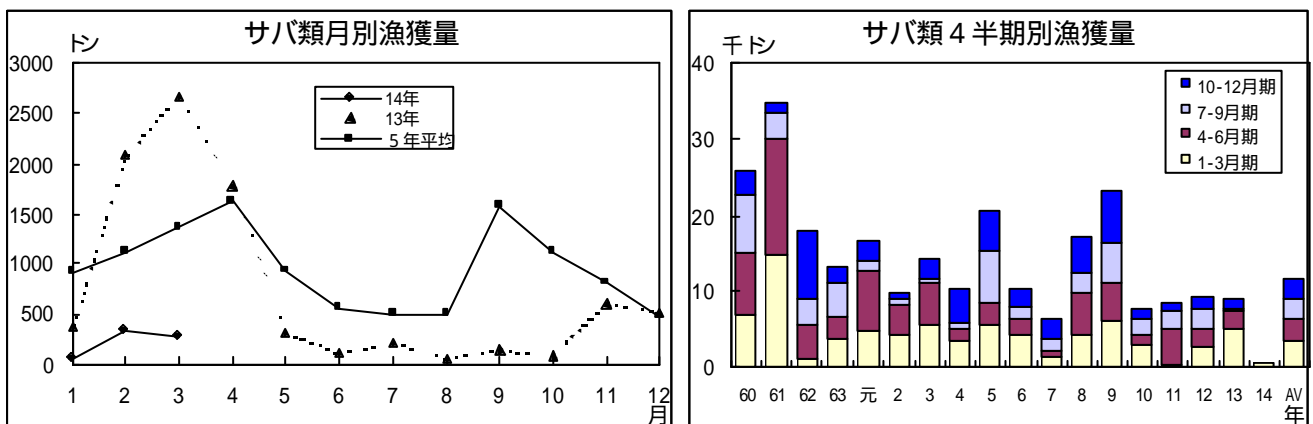


図 サバ類漁獲量変化(4港計)

平年値は過去5年（平成9～13年）の平均値，平成14年3月は19日までの水揚げ量を使用。

# [マイワシ]

## 1. 漁獲量の動向（農林統計）

全国のマイワシの漁獲量は，昭和30年代から40年代にかけての不漁期の後，昭和48年頃から増加の傾向が見られ，昭和63年には449万トンまで増加しました。しかし，平成元年から三陸沖を中心に漁獲量が減少し始め，その後もマイワシの若齢魚の減少等により，全国的に漁獲量は減少を続け，平成7年には66万トンとなり，平成10年は16万7千トンとなりました。平成11年は35万1千トン，平成12年は15万トンでした。

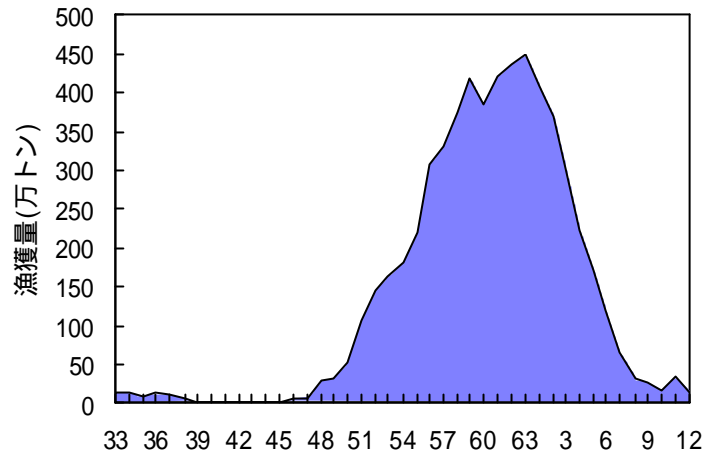


図 全国のマイワシ漁獲量の推移

## 2. 平成14年1～3月期の漁況の経過

【4港計（阿久根；枕崎；山川；内之浦）】

薩南海域の内之浦沖(1月)で漁獲がありました。

4港計では，0.4トンの水揚げで前年の10%でした。

## 3. 平成14年4～6月期の見とおし

漁獲の主体は小羽イワシ(0歳魚・平成14年生まれ)で，来遊量は前年を下回るでしょう。

(根 拠)

マイワシの資源状態は低水準にあり，前期の漁獲状況から低調に推移すると考えられます。

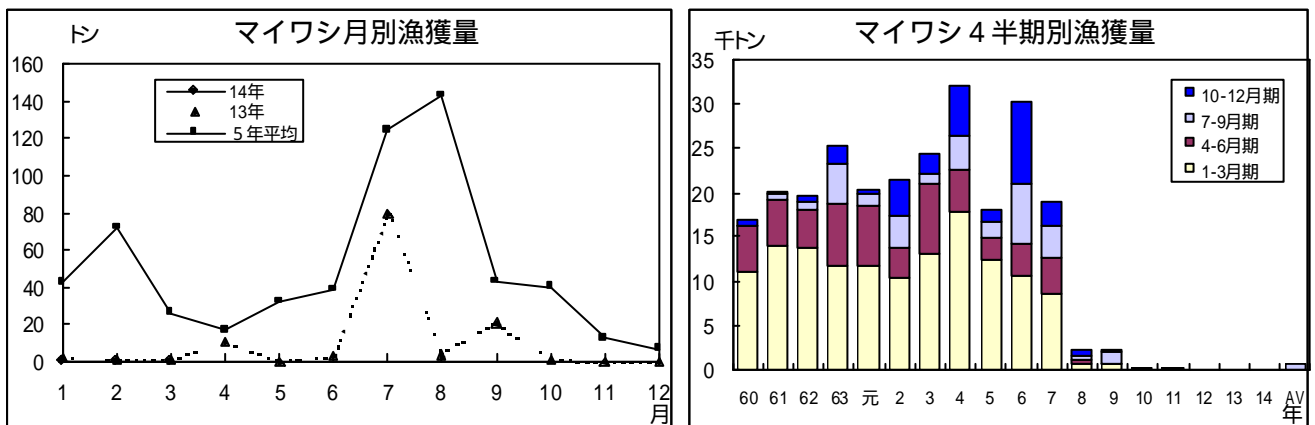


図 マイワシ漁獲量変化(4港計)

平年値は過去5年（平成9～13年）の平均値，平成14年3月は19日までの水揚げ量を使用。

# [ウルメイワシ]

## 1. 漁獲量の動向（農林統計）

全国のウルメイワシの漁獲量は、昭和30年代後半から40年代前半にかけて3万トン前後で推移していましたが、昭和46年から54年まで5万トン前後で推移しました。昭和55年以降、漁獲量は減少し昭和60年には3万トンとなりましたが、その後増減を繰り返しながら、増加傾向を示し、平成6年に6万8千トンとなりました。その後減少傾向に転じ、平成9年は5万5千トン、平成11年は2万9千トン、平成12年は2万4千トンでした。

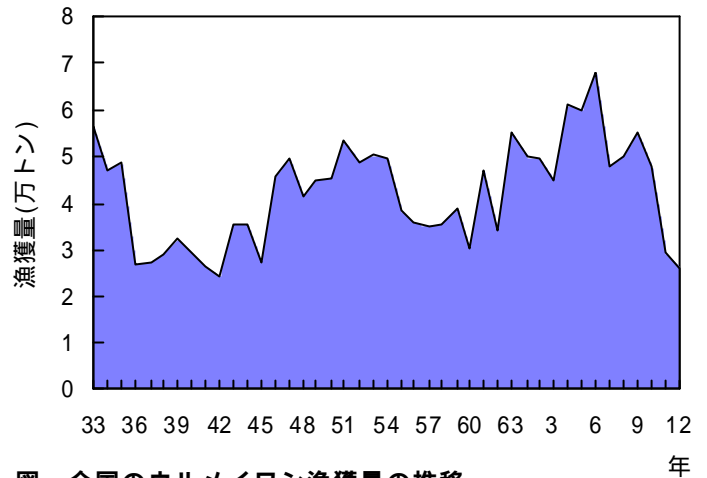


図 全国のウルメイワシ漁獲量の推移

## 2. 平成14年1～3月期の漁況の経過

【4港計（阿久根；枕崎；山川；内之浦）】

北薩海域では、甌島周辺(1月)に、薩南海域では、佐多岬沖(2月)、枕崎沖(3月)で漁獲がありました。

4港計では、139トンの水揚げで、1・2月は前年を上回りましたが低調に推移しました。前年の88%及び平年の51%でした。

## 3. 平成14年4～6月期の見とおし

漁獲の主体は小羽ウルメ(0歳魚・平成14年生まれ)で、来遊量は前年・平年を上回るでしょう。

(根 拠)

平成14年2月に北薩海域において棒受網でまとまった産卵親魚群が漁獲されました。

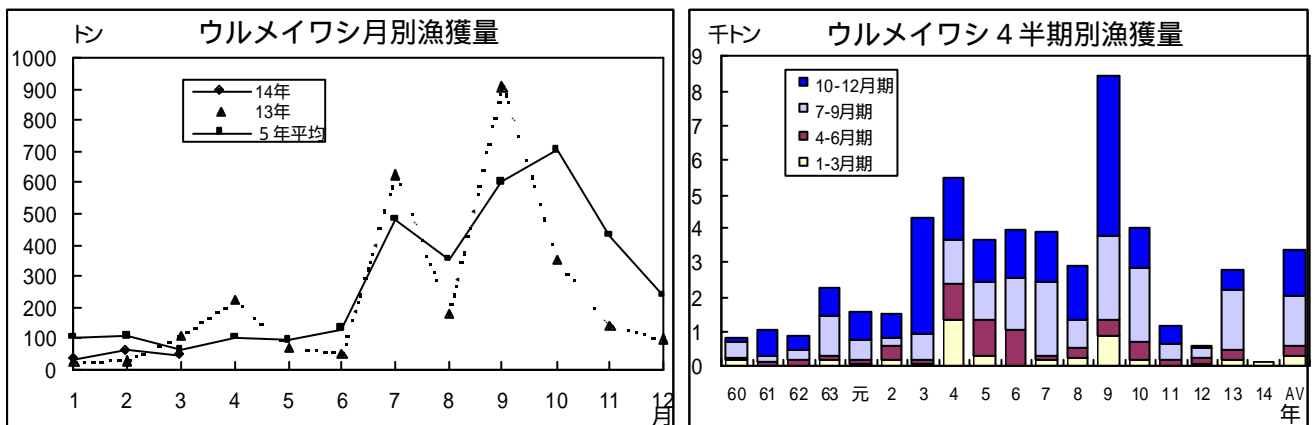


図 ウルメイワシ漁獲量変化(4港計)

平年値は過去5年（平成9～13年）の平均値，平成14年3月は19日までの水揚げ量を使用。

# [ カタクチイワシ ]

## 1. 漁獲量の動向（農林統計）

カタクチイワシの漁獲量は，昭和48年まで30万トン台で変動していましたが，昭和49年以降減少傾向となり昭和54年には13万トンとなりました。その後，徐々に漁獲量は増加し昭和59年には22万トンとなりましたが，昭和62年には再び14万トンまで減少しました。昭和63年以降は大きく増減を繰り返し平成9年は23万3千トン，平成10年は47万トン，平成11年は過去最高の48万トンとなりました。平成12年は38万トンでした。

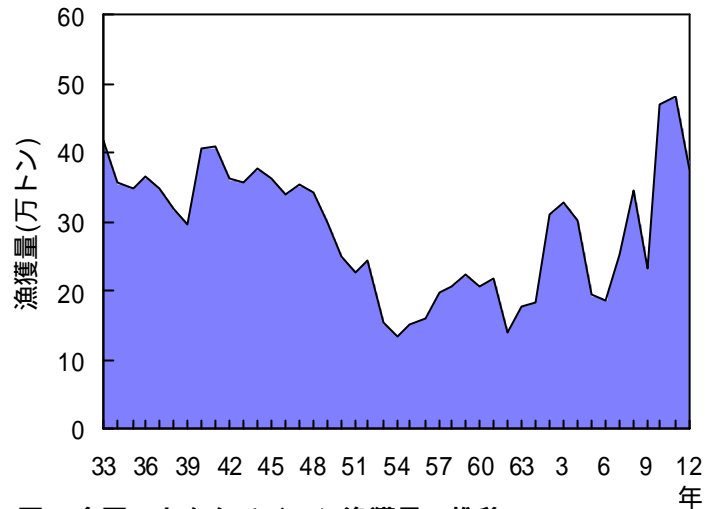


図 全国のカタクチイワシ漁獲量の推移

## 2. 平成14年1～3月期の漁況の経過

【4港計（阿久根；枕崎；山川；内之浦）】

北薩海域では，長島沖(3月)で，薩南海域では，枕崎沖(3月)で漁獲がありました。

4港計では，16トンの水揚げで，3月のみ漁獲が見られました。前年の247%及び平年の3%でした。

## 3. 平成14年4～6月期の見とおし

漁獲の主体は小羽カタクチで，来遊量は前年・平年を下回るでしょう。

（根 拠）

近年の漁獲量は高水準で推移していましたが，月により漁獲量のばらつきが大きく，減少傾向にあります。前期の漁況の経過や棒受網の状況からも低調に推移すると考えられます。

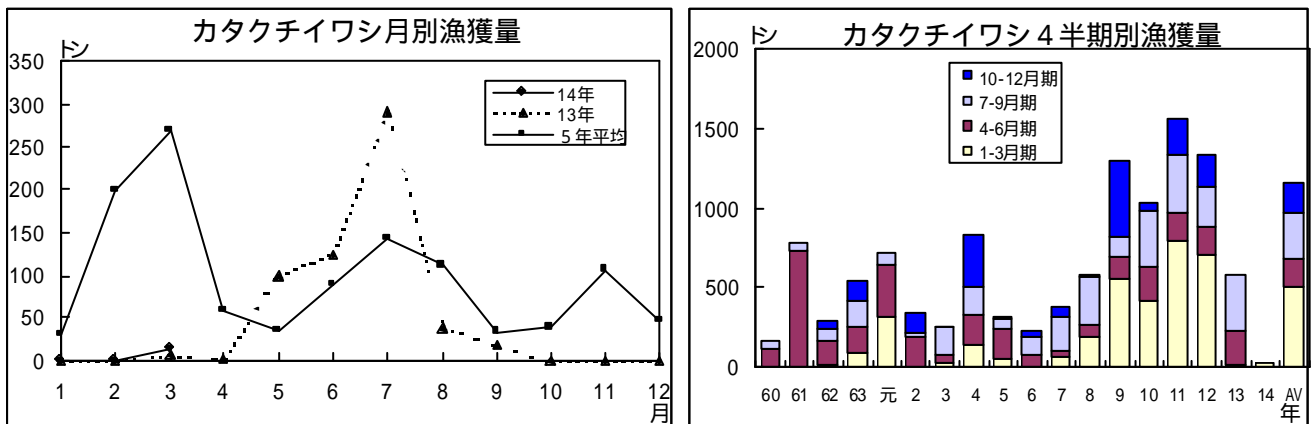


図 カタクチイワシ漁獲量変化(4港計)

平年値は過去5年（平成9～13年）の平均値，平成14年3月は19日までの水揚量を使用。

## [ その他の魚種 ]

### ムロアジ類 ( 4 港計 )

#### 1. 経年変化及び平成14年1～3月期の漁況の経過

ムロアジ類の漁獲量は、平成2年の21,700トンピークに減少傾向を示し、平成12年は、昭和58年以降最低の1,819トンとなりました。平成13年は、やや増加し3,224トンとなりました。

主に薩南海域で漁獲があり、1～3月期全体では788トンの水揚げで前年の81%及び平年の87%でした。

#### 2. 平成14年4～6月期の見とおし

来遊量は前年・平年並みでしょう。

### オアカムロ ( 4 港計 )

#### 1. 経年変化及び平成14年1～3月期の漁況の経過

オアカムロの漁獲量は、平成元年の5,300トンピークに減少し、平成6年には1,823トンとなりましたが、その後は増加傾向となり、平成10年は3,413トン、平成11年は減少し2,076トン、平成12年は2,483トン、平成13年は2,337トンとなりました。

主に薩南海域で漁獲があり、1～3月期全体では401トンの水揚げで前年の30%及び平年の43%でした。

#### 2. 平成14年4～6月期の見とおし

来遊量は前年・平年を下回るでしょう。

### マルアジ ( アオアジ ) ( 4 港計 )

#### 1. 経年変化及び平成14年1～3月期の漁況の経過

マルアジの漁獲量は、平成2年以降低調に推移しましたが、平成7年には1,430トンに増加しましたが、再び減少し平成11年は639トンでした。平成12年は、12年生まれ群の加入が順調で、1,867トンに増加し、平成13年は1,603トンでした。

主に北薩海域で漁獲があり、1～3月期全体では858トンの水揚げで前年の233%及び平年の462%でした。

#### 2. 平成14年4～6月期の見とおし

来遊量は前年を下回り、平年を上回るでしょう。

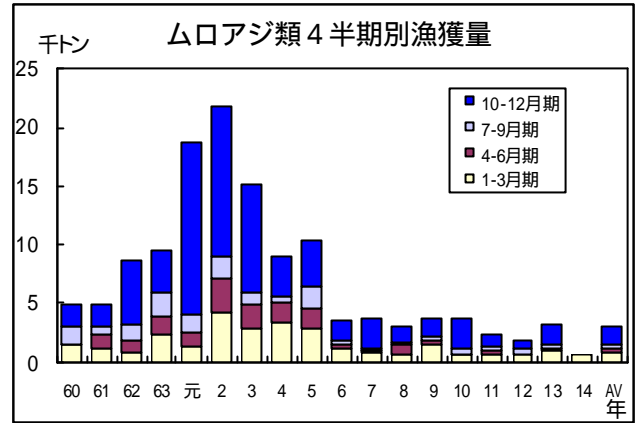
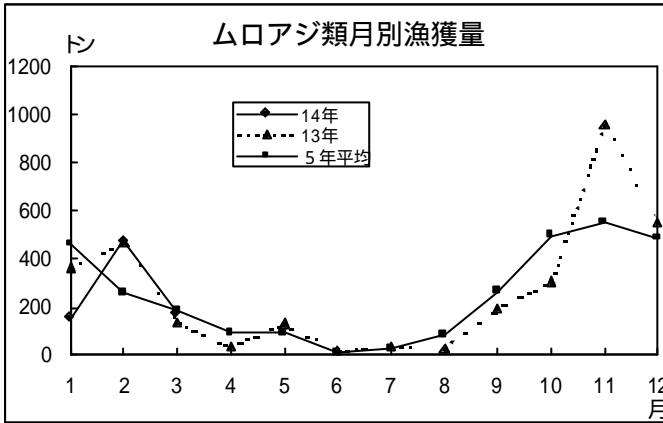


図 ムロアジ類漁獲量変化(4港計)

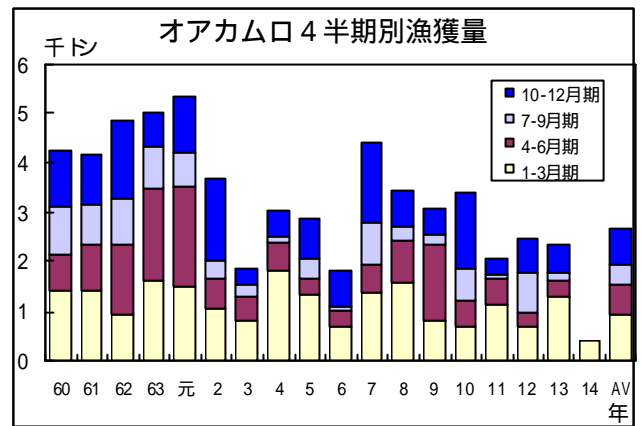
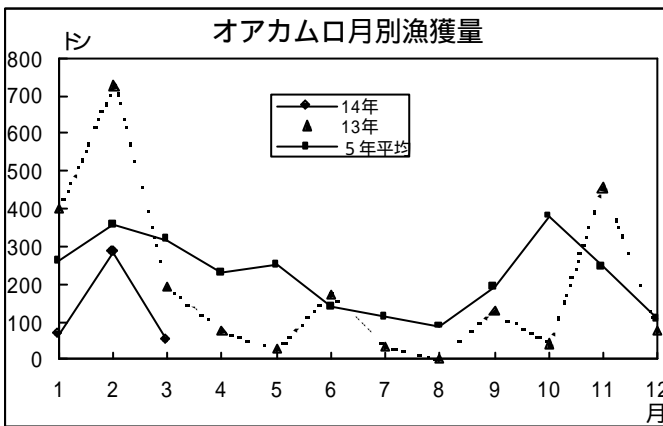


図 オアカム口漁獲量変化(4港計)

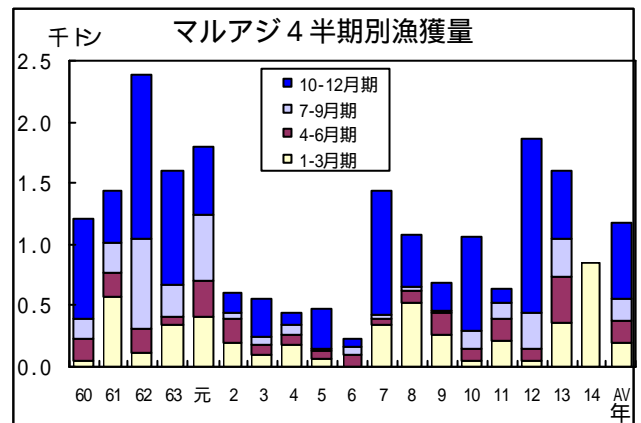
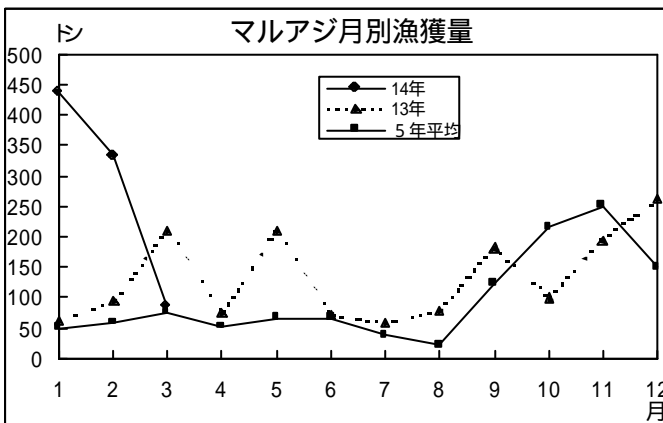


図 マルアジ(アオアジ)漁獲量変化(4港計)

平年値は過去5年(平成9~13年)の平均値,平成14年3月は26日までの水揚量を使用。